

市政の？を
問いました

大綱質疑

3月定例会では、
4会派が大綱質疑
を行いました。

施政方針

Q 前期実施計画の全体的な評価を定量的、定性的にどう捉えているのか。

A 全体的な評価となると人口動態がどうなのかに尽きる。人口動態の平成22年から平成27年と平成17年から平成22年の人口増減を比較すると、ほぼ全ての世代で改善が見られており、人口動態の改善傾向は引き続き継続しており、一定の成果を上げ続けていると認識している。

Q これまで取り組んできた小中一貫教育の成果をどう捉えているのか。

A 児童生徒の学校生活における満足度や社会性の習得度を分析するハイパーQU検査において、他者への配慮や関わり等の社会的スキルが全国平均を大きく上回っており、子どもたちに生きる力が身に付いてきていると捉えている。学力の面も年度により若干の上下はあるが、おおむね偏差値

が50を上回ってきており、学力向上にも成果が出ているものと捉えている。今後は、これまでの取り組みを継続しながら、学園を構成する各学校の交流を一層円滑なものとするべく、乗り入れ授業の拡大などにより教員同士の交流をさらに充実させていく。

Q 施政方針の経済状況が活況を呈していることの認識についてはどうか。

A 地元シンクタンクは、見通しが、有効求人倍率が高い状況で推移し、設備投資も進められている。しかし、米中貿易摩擦や消費税増税の影響などは注視していきたい。

Q 独自の求人情報発信ウェブサイト、三条おしごとナビの運用はどうか。

A 開設は3月7日を予定。参加企業数は現在85社で、開設の当初は62社、77件の求人企業情報でスタートする見込みである。

議第19号

三条市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について

Q 指定ごみ袋が20%値上げになるが、値上げの理由は何か。

A ごみ処理経費が近年増加し、10月に消費税が増税されるなどを踏まえ、再算定した結果だ。

議第13号

消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

Q 消費税増税に伴う条例の整理だが負担はいくらか。

A 平成31年度当初予算の水道料金など5つの使用料等で940万5000円増加。通年では4436万3000円増加すると見込んでいる。



議第1号

平成31年度三條市一般会計予算

Q 今年10月から消費税が増税される。来年度予算の影響はどうか。

A 一般会計、特別会計の歳出合計で約2億1000万円増加すると見込んでいる。通年では約4億1000万円増加すると見込んでいる。

Q 土木費で、トリムの森の整備に1億1500万円の予算を計上している。整備の中身はどうか。

A 現在8基の遊具のうち6基を撤去し、新設の遊具を配置する予定。利用者の動線を意識し、自然と一体で楽しめる空間に整備する。

議第9号

平成30年度三條市一般会計補正予算

Q 市道沿線住民が管理する消雪パイプが枯れたり、ポンプやノズルの破損などの修繕要望の増加とあるが、新設要望はあったのか。

A また、消雪組合員の高齢化や地区住民の減少など、消雪パイプに係る維持

Q このたび改訂した豪雨災害対応ガイドブックは、どのようなポイントの改訂なのか。

A 避難発令基準水位の見直しで、浸水の到達時間が異なることから、迅速な避難につながるよう発令する。これまでは、100年から150年の大雨について想定したものを、1000年に1回の大雨を想定して区域図に掲載したものである。

Q 本年1月に施設建設に着手した医療系高等教育機関の学校名はどうか。

A 運営業者が三条看護・医療・歯科衛生専門学校として設置計画書を県に提出している。

Q 今年10月から予定されている幼児教育、保育の無償化に向けて具体的な内容はどうか。

A 保育所の3歳児から5歳児の副食費を除き、認可保育所や認定こども園、幼稚園を利用する3歳児から5歳児、および住民税非課税世帯のゼロ歳児から2歳児の利用料を無償とするものである。

会派所属議員

自由クラブ	○久住 久俊	阿部銀次郎	佐藤 和雄	森山 昭	武石 栄二	野寄 久雄	馬場 博文
清風クラブ	○西川 重則	横山 一雄	山田 富義	岡田 竜一	名古屋 豊	酒井 健	
日本共産党議員団	○小林 誠	西沢 慶一	坂井 良永				
公明党議員団	○野崎 正志	笹川 信子					
無所属	佐藤 宗司	長橋 一弘					

※○：会派の代表者

2月に河原井議員および杉井議員の辞職に伴い、会派所属議員の変更および常任委員会の人事の変更がありました。